

温かな惣菜で工賃アップ

～コミュニティーネットワークふくい若狭事業所の「あったかプロジェクト」の紹介～

福井県・社会福祉法人コミュニティーネットワークふくい若狭事業所 所長
早佐古達也

はじめに

株式会社ママーズストアと有限会社タカノと社会福祉法人コミュニティーネットワークふくい若狭事業所（就労継続支援A型）の3社が連携して取り組んでいる「あったかプロジェクト」についてご紹介をさせていただきます。

社会福祉法人コミュニティーネットワークふくい（以下、当法人）は、障害福祉サービス事業所を福井県内で県庁所在地の福井市をはじめ5市1町にまたがり、県内全域で7事業所を展開しています。そのうち、今回の取り組みを行った若狭事業所がある若狭町は、県南西部に位置し人口約16,000人、海と山に囲まれ、若狭湾国定公園の中心部にあり、国際的に重要な湿地を保全するラムサール条約に登録された「三方五湖」、全国名水百選「瓜割の滝」、近畿一美しい川とされる1級河川「北川」など、水資源が豊富な町です。

当法人について

当法人は、1991（平成3）年に社会福祉法人の認可を受け、「研究と創造につとめ時流に先ずる」「責任ある判断と行動の下に最善を尽くす」「より豊かな社会づくりに貢献する」を理念に、知的障がい

をもたれた方の通所授産施設を開所しました。社会福祉法人となり27年が経過し、事業も増え、県内において就労継続支援A型事業（以下、A型事業）、生活介護事業、共同生活援助事業、相談支援事業などを運営し、全事業所を合わせた1日の平均利用者数は約300名となります。特にA型事業は、県内で最大規模の事業運営を行っており、1日に約150名の利用者が仕事に就いています。仕事の内容も豊富で、弁当製造や餅・豆腐製造などを行う食品加工部門や、公立中学校1校、小学校1校の学校給食を福井県坂井市から委託を受けて製造を行う事業所もあり、全国的にも珍しい取り組みを行っています。

その他、パンの製造を行うベイク部門、福井県発祥のコシヒカリなどを栽培する農業部門、空き缶やペットボトルの回収や減容を行うリサイクル部門など、多岐にわたる事業を展開しています。また、当法人ではA型事業の利用者を「社員」という雇用形態（一般の企業と同じように社会保険や退職金を掛けています）を用いています。これには一般の企業で働いているという意識を持ってもらうことなど

の想いが込められています。

若狭事業所について

若狭事業所では、A型事業、生活介護事業、共同生活援助事業としてグループホーム2カ所、日中一時、短期入所を行う複合施設となっており、1日約80名の方々が利用されています。A型事業では、様々な業種の作業を行い、社員一人ひとりにあった仕事の提供を行っています。

食品加工部門は、事業所給食や地域の福祉施設の給食、地域の運動会などのイベント弁当やオードブルの製造を行っています。惣菜製造では、煮豆や若狭地方の伝統料理「へしこ（魚の糠漬け）」の製造もしております。

ベイク部門は、事業所で製造した焼きたてパンを事業所が運営するコンビニのベイクコーナーで販売しています。また、コンビニ販売の他には、若狭町・小浜市の役場や会社に外商販売をしています。節分には鬼パン、クリスマスにはサンタパンなどを販売して地域の人からも好評を得ています。

製塩部門は、手作りの塩「海のシルクロード」と梅干しを漬ける時にできる梅酢を用いた塩「梅酢の塩」を製造しています。「海のシルクロード」は、小浜市の海岸より120m沖から汲み上げ、ろ過した海水を釜でじっくり煮込んで自然な塩を製造しています。トゲのない辛さでおにぎりや焼き鳥・焼き魚に使うと絶品です。プリンや塩ポン酢、へしこなど、県内の食品製造業者に、各製品の食材として使用していただいています。その他、米づくりを中心とした農業や公共施設等の清掃作業等を行っています。

あったかプロジェクトについて

株式会社ママーズストアと有限会社タカノと当法人の3社が連携して取り組んでいるプロジェクトです。

株式会社ママーズストア（以下、マ

マーズストアと略）は創業が1962（昭和37）年の地元の老舗スーパーマーケットで福井県小浜市内に3店舗を営業されています。国、地域社会、スタッフ、お取引先、そしてお客様に対して「感謝・報恩」できる企業になり、一人ひとりが仕事を通して人間性を高めていくことのできる企業

でありたいという、創業当初より掲げる経営理念を方針として運営されてきました。

有限会社タカノ（以下、タカノと略）は、小浜市にあるレストラン「キッチンBOO」・仕出し弁当・キッチンカーで移動販売を行っている企業で、地産地消の促進、未来の子どもたちが安心安全でお腹いっぱい食べてもらえる商品やレストランづくり、高齢者や障がい者が楽しく仕事ができる第一加工場を作ったりしています。また、農水産品の規格外品を商品化し「食」を通して地元の人にはもちろん、小浜に興味を持ってお越しいただいた人たちにも幸せな気持ちになれる環境づくりを目指されています。

このような3社が企画した「あったかプロジェクト」とは、互いに連携して、ママーズストアを利用されるお客を中心に、独自の付加価値の高い惣菜の提供を行い、喜んでいただける商品を作るプロジェクトです。関わる人すべての人が「心があったか」になるということを目指しています。タカノのアドバイスをいただきながら開発した惣菜商品を、若狭事業所で製造し、ママーズストアで販売しています。

プロジェクトの始まり

プロジェクトのきっかけは、ママーズストアの河村社長が地元で社会貢献につながることをしたいと常々考えていたこと



ママーズストア惣菜コーナー



あったかプロジェクトシール